

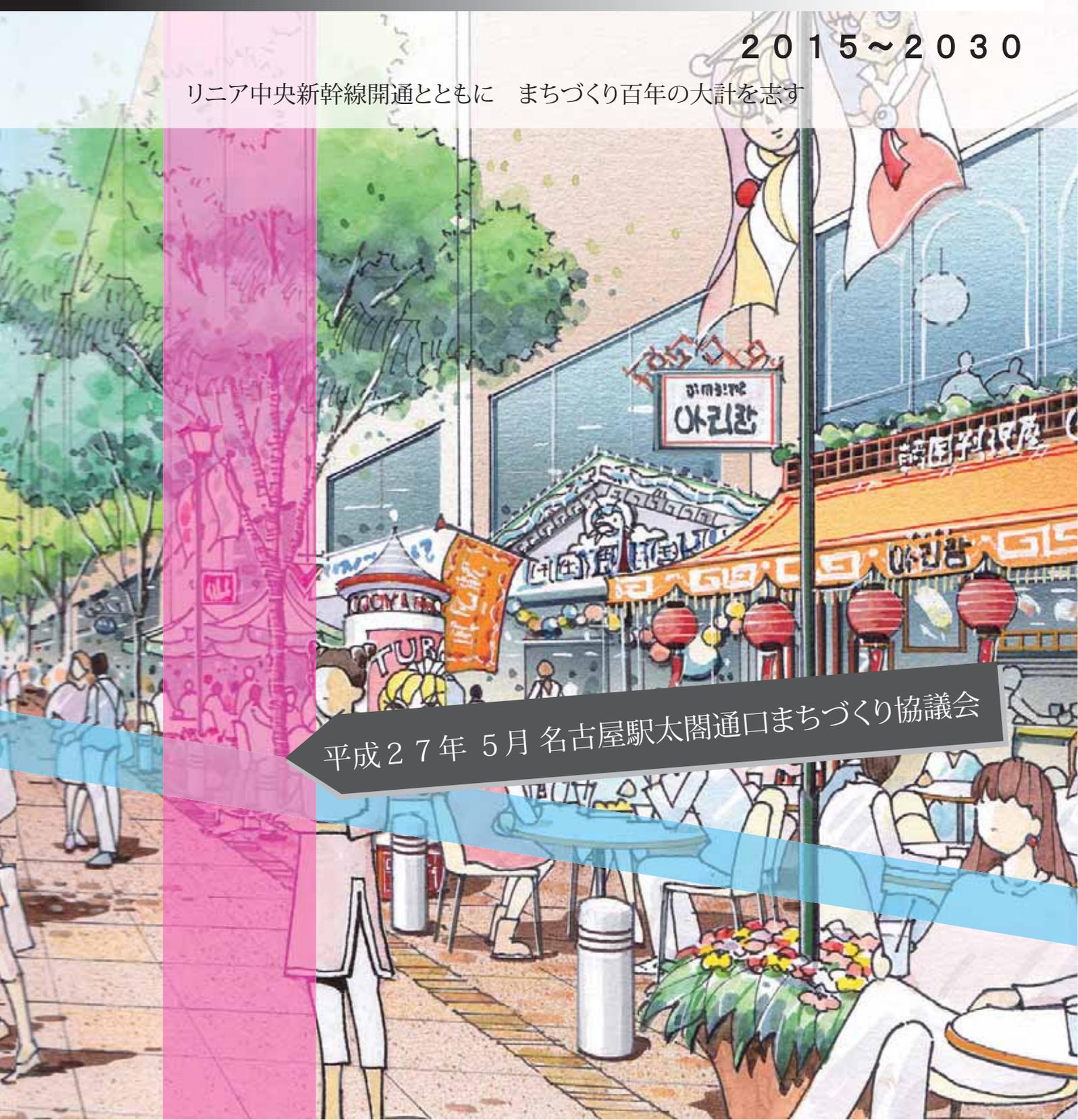


椿まちづくりビジョン

名古屋駅太閤通口

2015~2030

リニア中央新幹線開通とともに まちづくり百年の大計を志す



平成27年5月 名古屋駅太閤通口まちづくり協議会

椿まちづくりビジョン

[もくじ] 1

第一編 まちの将来イメージ

はじめに ご挨拶 2
ビジョンづくりの主旨 3
名古屋駅太閤通地区 まちのあゆみ 4
これまでの写真ピックアップ 5

1 椿まちづくりコンセプト

① まちづくりの背景 1 2
② まちづくりの理念とコンセプト 1 4

2 まちの将来方向

① 土地利用ゾーニング 1 6
② ゾーンの将来像 1 7
③ タウン軸の将来像 1 8
④ 重点プロジェクトのイメージ 1 9

3 アニメで描く まちの将来イメージ

この町で学ぶ若者が描く 新椿10景 2 0

第二編 まちづくりの実現に向けて〈素案・骨子〉

1 まちづくりの決意 2 4
2 まちづくりの協定 2 5
3 まちづくりの進め方 2 6

編集後記 2 7

会員名簿 2 8

別冊1 まちづくりアンケート

(居住者・事業所アンケート、来街者アンケート)

別冊2 まちづくりワークショップ

第一編 まちの将来イメージ

はじめに

ご挨拶

名古屋駅太閤通口まちづくり協議会 会長
西川 富夫

期待と不安を乗せて出発した「名古屋駅太閤通口まちづくり協議会」は、3年が過ぎました。リニア中央新幹線の工事もいよいよスタート。

この度、名古屋市は「名古屋駅周辺まちづくり構想」を発表。「国際的、広域的な交流拠点・玄関口にふさわしい風格とにぎわいの顔づくり」が「基本方針1」に示されました。

私たちの駅西地区にも、方針に相応しいまちづくりが、期待されています。

名古屋駅地区は、リニア中央新幹線開通により、日本列島の基幹軸の根幹に当たります。大きなお宝が埋まっています。だからこそ 世界を見据えた高邁な理念とそれを実行に移す覚悟が必要です。

そんな思いの第一歩として、みんなでこのビジョンをつくりました。

ビジョンづくりの主旨

名古屋駅太閤通口地区は、旧国鉄名古屋駅開設後、戦後の闇市を経て、戦災復興土地地区画整理事業、東海道新幹線開通とともにまちが発展し、今、三大都市圏を最短時間で結ぶJ R東海リニア中央新幹線の新駅設置に伴い、まちが大きく変わろうとする波を迎えています。

私達は、鉄道と共に変化してきたこのまちの歴史と、これまでこのまちを支えてきた先人達の努力の足跡を尊重し、今迎えるまちの変化を三大都市圏と名古屋の未来への期待と受け止め、その期待に応える責務を持って未来につなぐ100年の大計とも言えるまちづくりをめざします。

まちづくりを進めるため、私達は住民・営業者・事業所学校など、このまちの皆様のご賛同を得て、名古屋駅太閤通口まちづくり協議会を設立し、まちの過去・現在を振り返り未来を見つめてまちづくりを議論して参りました。このため住民・事業所アンケート、来街者アンケート、協議会会員によるまち歩きとワークショップを行いました。その経緯をふまえたこのビジョンは、これからのまちづくりの出発点、最初のステップとなるものです。

このまちには様々な人々の暮らし、ご商売の営み、企業活動、教育活動などが集まっています。また国内外や市民をはじめ多数の来訪者がいます。その立場は様々です。様々な立場の方々が一緒になってまちづくりを進めるためには、立場の違いを理解し合い、未来への目標を実現していく志を一つにして、まちづくりを実現するためのルールを持った羅針盤が必要です。このビジョンは、このようなまちづくりの羅針盤、ガイドラインの役割を果たすものです。

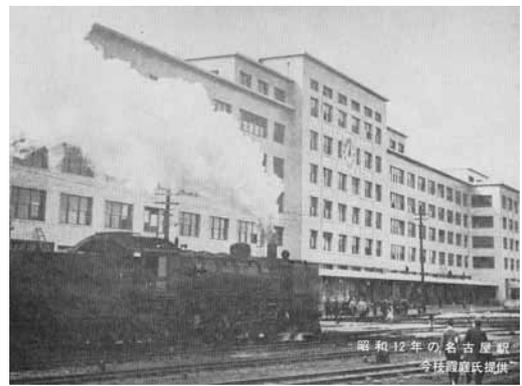
まちは生き物です。まちづくりのビジョンもまちの発展と共に、新しく見直し、充実していくことが必要です。次のステップへの発展をめざし、このビジョンへの皆様のご協力、ご意見を頂戴することを期待致します。

名古屋駅太閤通口 まちのあゆみ

明治19年	笹島に名古屋駅できる 「笹島ステーション」と呼ばれる
大正10年	名古屋市中区牧野町で名古屋市に編入
昭和5年	筈瀬川を暗渠化し 筈瀬通となる
昭和12年	名古屋駅 現在地に移転 中村区牧野町となる
昭和20年	空襲により椿町地区全焼 終戦によりバラックの店や露店が出る 「闇市」の始まり
昭和30年代	戦災復興土地区画整理事業実施 4割減歩の受入れ 道路拡張
昭和39年	東海道新幹線開通
昭和40 ~50年代	ビジネスホテル増加
昭和46年	新幹線地下街「エスカ」誕生 予備校増加 若者が増加
昭和60年	大型商業・ホテル複合施設開業
平成元年	世界デザイン博開催 名古屋駅太閤通口広場整備 現在の形状になる
平成6年	大型アニメショップ開店 以後アニメ関係店増加 若者さらに増加
平成11年	JR セントラルタワーズ完成 この頃から電線地中化
平成17年	愛・地球博開催 居酒屋等の飲食店が増加
平成24年	名古屋駅太閤通口まちづくり協議会 設立 以後毎年 TSUBAKI フェスタ 開催
平成27年	椿まちづくりビジョン 作成

以下の5～11頁の写真は関係者のご協力で提供されたものです。
最終奥付にご提供者のお名前を記載しています。
無断転載、コピーを禁じます。

笹島ステーション～名古屋駅のできたころ



空襲により椿町地区全焼



終戦によりバラックの店や露店が出る

「闇市」のはじまり～戦災からの復興

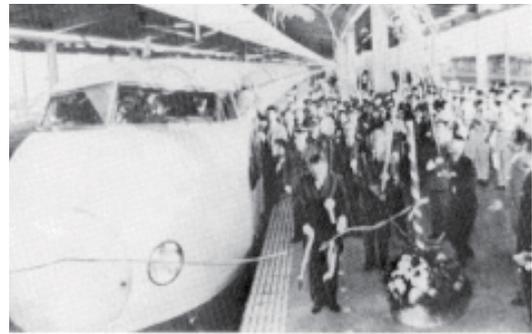


背後の建物は牧野小学校

戦災復興土地区画整理事業実施、東海道新幹線開通



中央は、杉戸元名古屋市長



大型商業・ホテル複合施設開業



新幹線地下街「エスカ」誕生



JR セントラルタワーズ完成 名古屋駅太閤通口広場

太閤通口周辺現況





TSUBAKI フェスタ
開催



2012年名古屋駅西、椿町に誕生！
 グローバルタウンからアジア・世界へ！！



【ユニット名】 Diligtful Enchanthing Lovery Angels の頭文字をとって名古屋弁で最上級を表す「でら」が語源





【dela インフォメーション】

dela (デラ) は 2012 年名古屋駅西椿町で誕生したアイドルユニット。
 デビュー以来、地元名古屋での LIVE・イベント出演に留まらず、ドラマ
 ・バラエティなどのテレビ番組や CM に多数出演。
 TOKYOdelaTHEATRE での定期 LIVE、台湾・HAWAII・シンガポール・
 ベトナムでも LIVE を敢行する全国でも稀な名古屋が誇るハイクオリ
 ティアイドルユニットです！



シンガポールにて

Delightful Enchanting Lovely Angels

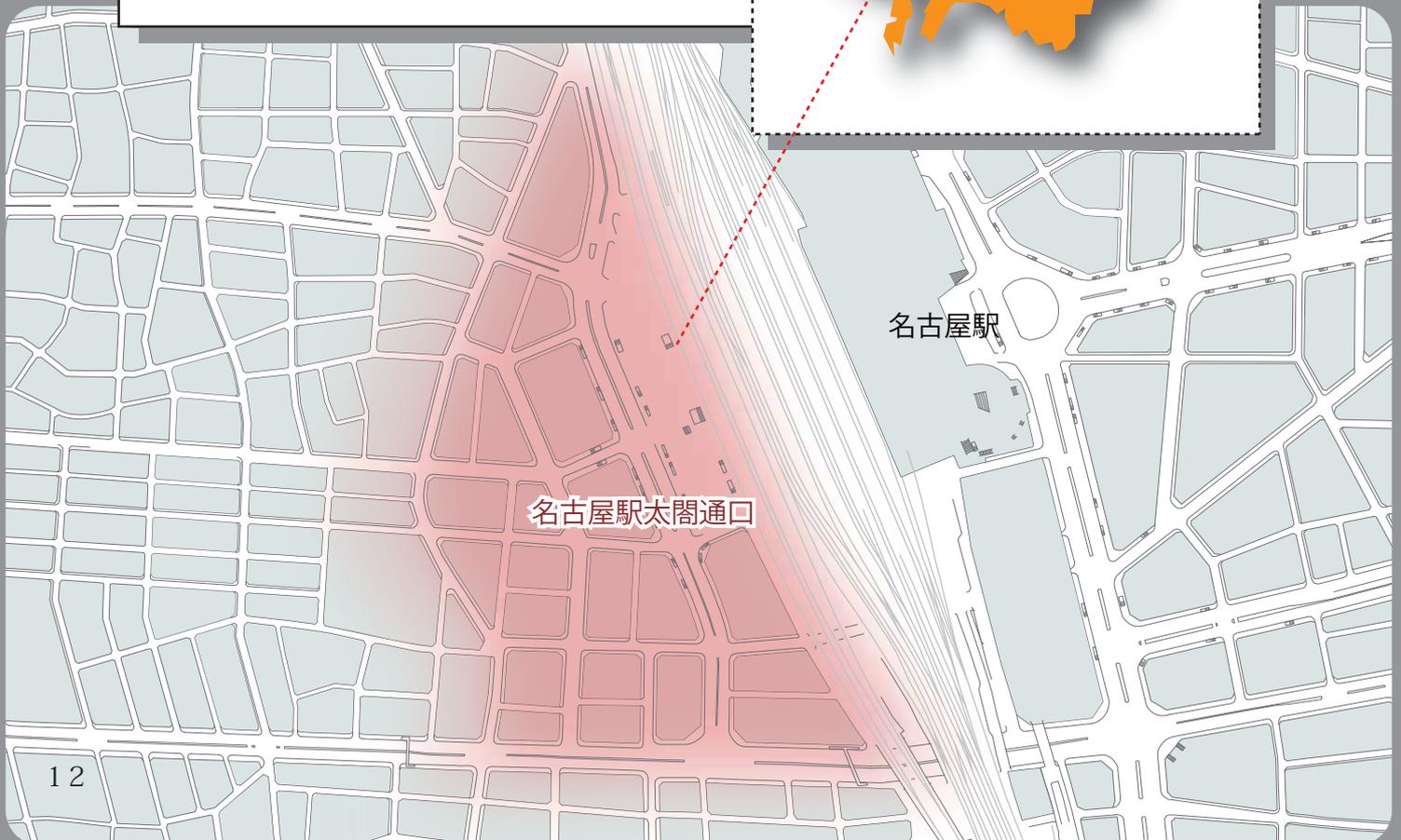
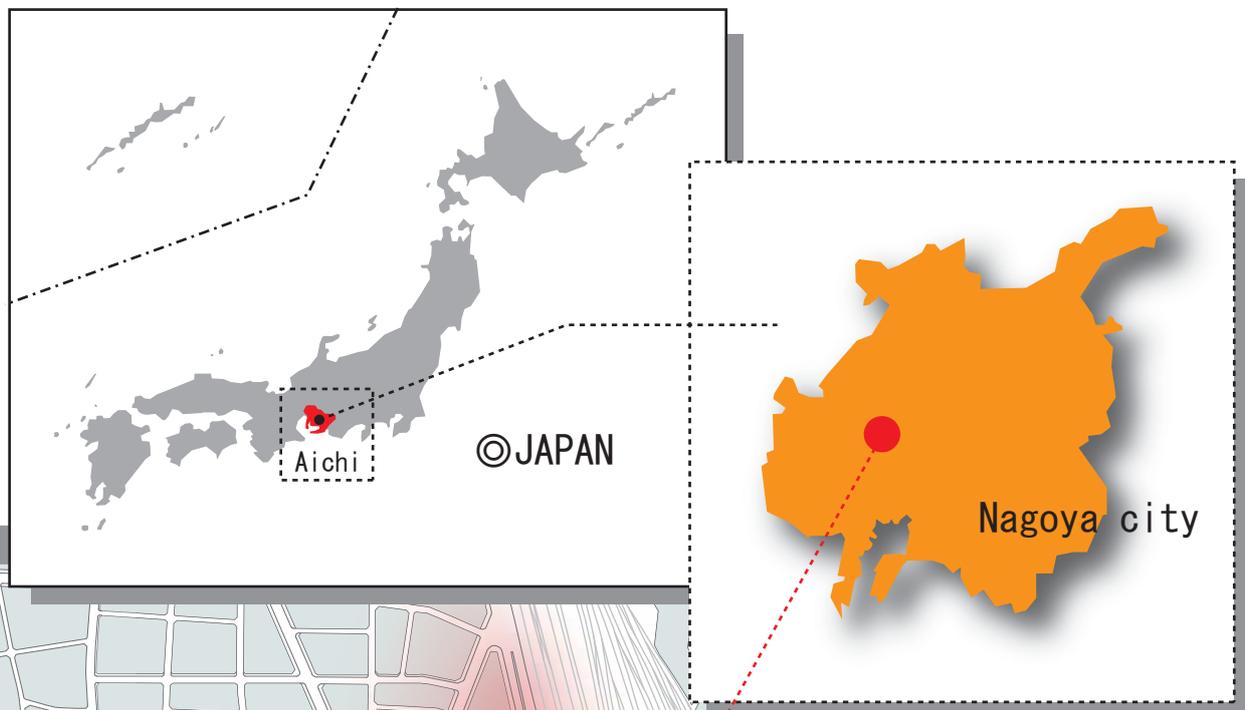
1 椿まちづくり コンセプト

① まちづくりの背景

椿まちづくりの出発点

- ・ J R 東海リニア中央新幹線新駅開設に対応するまちの将来を描く
- ・ 名古屋市都市づくり、名古屋駅周辺のまちづくりと連携する
- ・ 地域の沿革を活かし、地権者・居住者・事業者の志をまちづくりに描く

◎ 名古屋駅太閤通口の位置



リニアで広がる名古屋大都市圏

- ・リニア中央新幹線が誘発する三大都市圏連携時代の中心都市圏
- ・東西軸：世界に例を見ない大都市連携1時間都市帯
- ・南北軸：太平洋・伊勢湾～日本海を結ぶ海・川・山・都市の国土中央帯

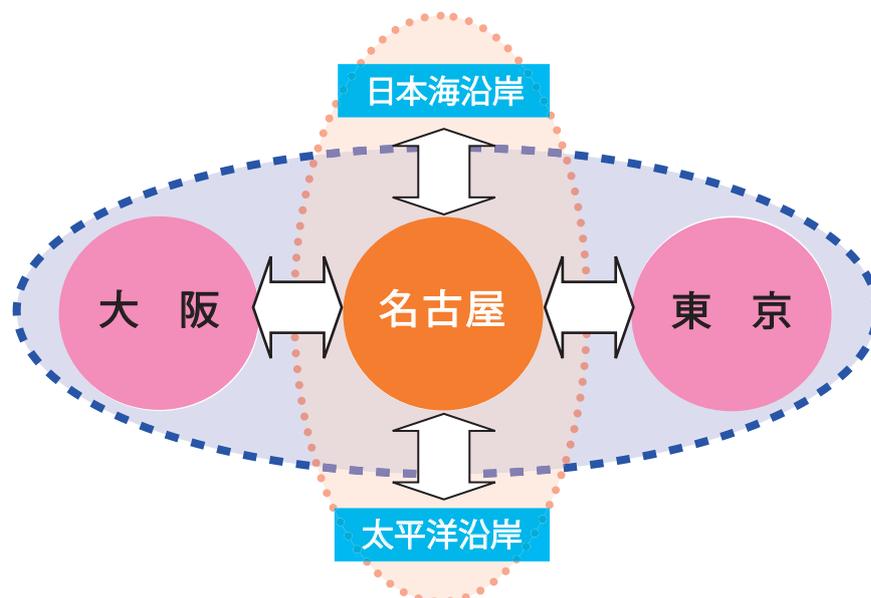
世界に開かれた多機能・創造・交流都市 名古屋

- ・三大都市圏の中心的結節点を担う世界に開かれた多機能・交流都市
- ・ものづくりを核とする産官学連携の産業・技術・文化の創造都市
- ・城下町を基盤に都市計画で発展した国際日本文化の交流都市

名古屋の都市再生のフロント 名古屋駅地区

- ・名古屋大都市圏の交通ゲート+交流結節点としての都市再生
- ・世界に開かれた名古屋のシティ・フェース
- ・ビジネス～商業～文化の交流サービスが担う都市圏のコア機能
- ・名古屋駅東西の都市再生、賑わいがつくる個性的まちづくり

◎三大都市圏の新しい連携構造



② まちづくりの理念とコンセプト

名古屋駅太閤通口 椿まちづくり

3つの理念と志

椿まちづくりを構想するにあたり、私達はこの町の過去～現在～未来を展望した**3つの理念と志**を掲げ、そのもとに手を携えてまちづくりに取り組みます。

☆ JR東海リニア中央新幹線新駅開設を
機会にまちづくり百年の大計を志します

☆ “生活文化” を創造する駅前まちづくりで
来訪者を暖かくお迎えします

☆ このまちで住み・働く町衆の手で、
まちの価値を“守り・活かし・創り”ます

7つのコンセプト

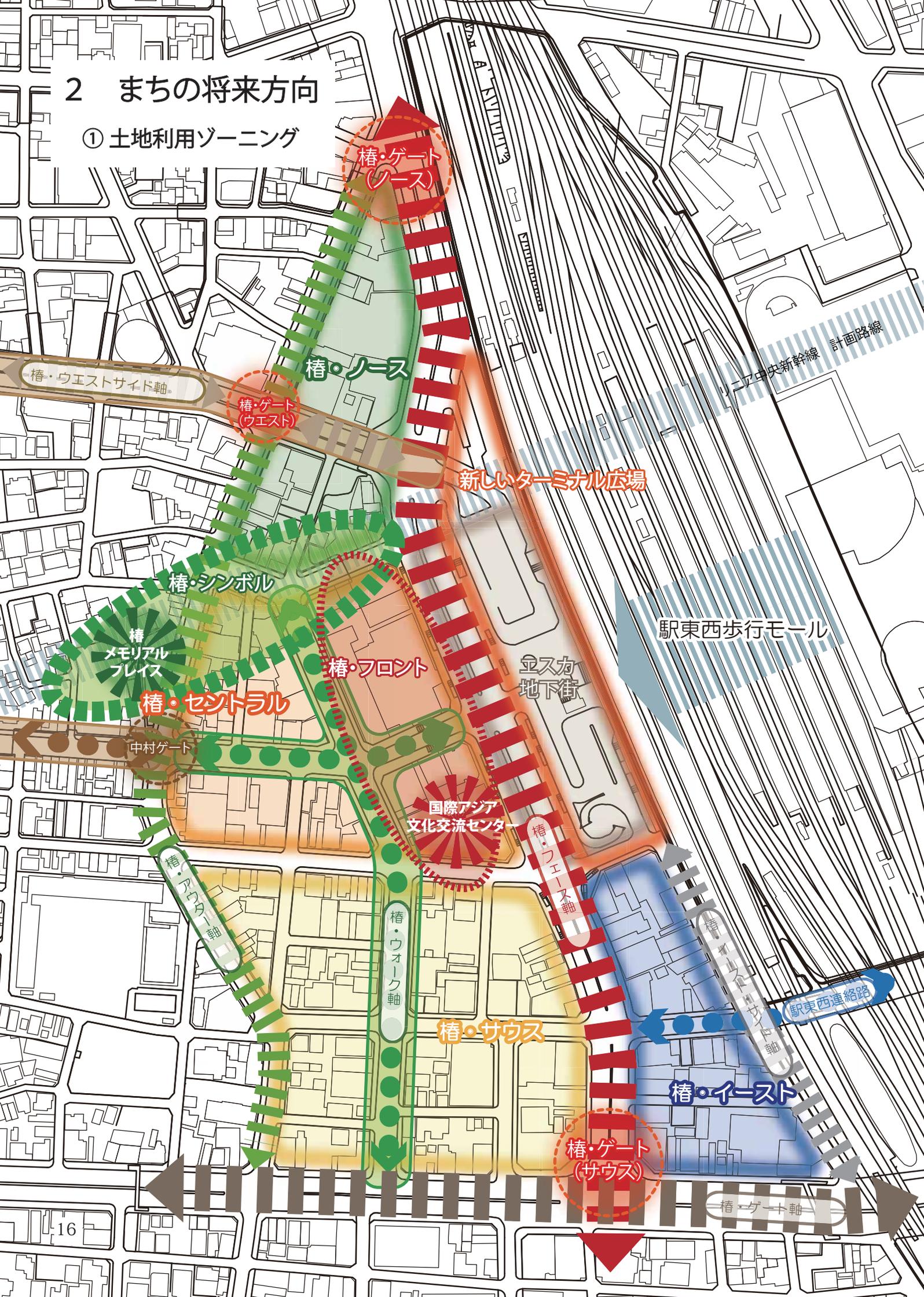
- **国際アジア文化交流タウン** グローバルな交流が生まれるまち
- **名古屋駅前ウェルカムタウン** 来訪者を暖かく送迎するまち
- **アジア祝祭グルメタウン** “市と食” を楽しむウォーキング・タウン
- **緑のシティーオアシス** 豊かなシンボル・グリーンのあるまち
- **ヤング・クリエートタウン** 若者の活気が溢れる創造のまち
- **インテリジェントタウン** 駅前で働き・学ぶ“知”のまち
- **エコ・ライフタウン** 暮らしと環境がハーモニーするまち

コンセプト概念図



2 まちの将来方向

① 土地利用ゾーニング



② ゾーンの将来像

樁・シンボル

緑のシティーオアシス（防災拠点・イベント広場）

- まちの心の象徴・樁神社とリニア中央新幹線名古屋駅上部を結ぶ
緑の広場・防災拠点
- 新幹線エスカ地下街と地上のまちをつなぐ緑のイベント広場

樁・フロント

世界が集う国際アジア文化交流タウン

- 世界の人が集う国際アジア文化交流センターを地域の核施設として設置
- 来訪者情報案内所、内外の来訪者をご案内するウエルカムセンターを設置
- 新幹線正面のホテル・ビジネス・商業街区としてエスカ地下街との
接続を強化

樁・セントラル

歩いて楽しいアジアン・グルメタウン

- 既存集積を活かしたナゴヤとアジアの食材を手に入れる・味わうグルメタウン
- 緑の歩行者モールを軸に、昼も夜も賑わう、歩いて楽しいオープン・
カフェのあるまち

樁・サウス

若者の活気が溢れるヤング・クリエートタウン

- 専門学校の集積と連携した若者の活気が溢れる未来志向の文化創造のまち
- 日本が先駆するアニメーションなど次世代文化を育てるサブカルチャーのまち

樁・ノース

働き学ぶ・インテリジェントタウン

- 新幹線名古屋駅に面したビジネス街区、若者が学ぶスクール街区
- 新幹線名古屋駅に面した風格と知性をまちの表情に表すインテリジェ
ントタウン

樁・イースト

来訪者に便利なウエルカムタウン

- 飲食・宿泊・学校・業務・サービス・医療の複合する駅そば利便サービスのまち
- 新幹線名古屋駅に到着する人を迎え、旅立つ人をお見送りする送迎のまち

樁・ライフ

エコ・コミュニティタウン（地区全体）

- この町に生まれ・育ち・暮らす人々の故郷再生、暮らしと環境が
ハーモニーするまち
- 子連れファミリー、こども達、お年寄りが広場で憩う明るい都市ライ
フのあるまち
- 子育て中の女性が働きやすい託児機能など子育てを支援するまち
- 街路樹、緑のシンボル広場、街角広場、壁面緑化で駅前エコ・モデルタウン

③ タウン軸の将来像

椿・フェース軸

リニア中央新幹線名古屋駅の顔となるアヴェニュー

- まちの顔・リニア開通後の椿町線、おもてなしのフェース・アヴェニューとして再生
- 高木の緑、風格の有る建物、秩序有る広告物、駅利用者・来街者のための歩行者動線

椿・ウォーク軸

緑あふれる祝祭グルメ・モール

- 歩いて楽しいまちの軸 東西・南北クロス道路を花と高木のある歩行者モールに
- 自転車駐車配置や路上障害物規制で、名古屋初本格的なオープン・カフェのある道に

椿・アウター軸

まちの歴史を伝えるグリーン・コリドー

- 椿神社に向かう笈瀬通（旧笈瀬川跡）を、まちを囲む水と緑の回遊路に再生
- 沿道の緑化、交差点や街角の広場に水景のモニュメントや歴史案内板を設置

椿・ゲート軸

リニア中央新幹線名古屋駅へのゲート・ストリート

- 駅に向かう 市内から新幹線名古屋駅にお迎えする道
- 市内に向かう 新幹線名古屋駅から都心～笹島～中村に向かう道

椿・イーストサイド軸

便利・安全・安心駅そばストリート

- 名古屋駅駅東西の連絡、高架下利用客、駅周辺への配送サービスなど利便性の高い道
- 歩行空間充実、緑の配置、外国語案内表記、店舗広告コントロールで明るい小径を誘導

椿・ウェストサイド軸

市内西部と結ぶウエストサイド・ストリート

- 駅前・椿町線から市内西部を結ぶ基幹的交通動線、団体観光バス乗降場等の配置
- 歩行者空間と街路樹の充実、交通サイン・外国語案内表記の充実、

中村歴史の散歩道

椿神社～中村公園を結ぶ大正レトロ・ストリート

- 「椿神社」～「名古屋駅西銀座通商店街」～「中村公園・豊国神社」を結ぶストリートを『中村歴史の散歩道』として近代中村区の歴史を表す大正レトロの町並みイメージで演出。

④ 重点プロジェクトのイメージ



椿・ウォークのイメージ・パース

● 椿・シンボル メモリアルオアシス

地区の象徴・椿神社と一体的にリニア新駅上部を駅前防災拠点の広場を目指す。

JR東海、名古屋市、地権者、椿神社氏子と連携し、新幹線駅前唯一の緑の広場を創出。

● 椿・ウォーク 歩いて楽しい祝祭グルメ・モール

椿・セントラルの南北・東西道路を歩行者系道路とし、高木植栽による緑の道に再生。

自転車駐車場、路上障害規制などをルール化、名古屋初のオープンカフェ・ストリートに。

● 椿・ゲート このまちへの入り口を示す

主要な幹線道路から地区への入り口に、リニアや地区の文化を象徴するゲートを設置。

道路管理者、公安委員会などの協力を得て官民連携で交通標識を兼ねて整備。

● 国際アジア文化交流センター まちのシンボル施設

駅前正面ブロックを再生し、この一角に国際アジア文化交流センターを設置する。

地権者の協力、愛知県、名古屋市との連携でリニア新幹線駅前唯一の施設を目指す。

● アニメ・ミュージアム まちのカルチャーの象徴

このまちのカルチャーを象徴する文化観光施設としてアニメ・ミュージアムを設置する。

拠点施設の整備や既存建物の建て替え・改修と併せ、地権者、学校の協力を得て整備。

● 中村歴史の散歩道 中村の歴史をたどる

名古屋駅から名古屋駅西銀座通商店街、大門地区を経て中村公園・豊国神社に至る歴史散策路を整備

名古屋駅西銀座通商店街、名古屋市・中村区と連携し大正レトロの町並みイメージを誘導

● 緑のエコ・コミュニティタウン 暮らしの象徴

まち全体の空地、建物壁面、道路を活かした緑化を進め緑豊かなエコタウンをつくる

緑化協定などを結び、土地・建物所有者、名古屋市と連携し、他にない緑の特色をつくる

子供、子育て、お年寄りの暮らしやすい環境を整える

新 椿 10 景

アニメで描く

まちの将来イメージ

TSUBAKI

このまちで学ぶ若者が
描いた
名古屋駅大閘門口
近未来の情景

このまちで世界の人々がアジア文化と交流する

国際アジア文化交流タウン



フロントアヴェニュー

椿ゲート



2

3

シンボル・オアシス

懐かしい 八味市 広場



アジアン・グルメタウン

何時来てもアジアの食文化が楽しめる

祝祭グルメ・モール

歩いて楽しい食のおもてなしストリート

5
6



ヤング・クリエートタウン

若者が創造的に活躍するまち



7

若者が学びはたらくまち

インテリジェントタウン



新 椿 10 景

アニメで描く

まちの将来イメージ

緑の回廊・河童の泉

笈瀬通・歴史の伝承

8



9

中村歴史の散歩道

大正レトロを楽しむ



10

椿・ライフタウン

豊かな暮らしのあるまち



第二編 まちづくりの実現に向けて(素案・骨子)

引き続き第二ステップで、ビジョンを実現していくための方法、プログラムをまとめます。以下は今後の協議のたたき台として掲載します。

1 まちづくりの決意

① まちづくり宣言

私達は地域の歴史と先人の努力を尊重し、J R東海リニア中央新幹線の開通と新駅設置の機会を生かして、「地域の主体と互惠、公民の連携と協調、市民・企業との理解と協力」の三位一体で、名古屋の未来に貢献する魅力的な名古屋駅太閤通口のまちづくりを進めます。

そのため、次の事項をまちづくり憲章として守り、まちづくりを進めることを宣言します。

② まちづくり憲章

- リニア中央新幹線開通を機会に、日本一個性豊かで魅力のあるまちづくりをめざします。
- まちの歴史と先人達の努力を継承し、誇りの高いまちづくりを進めます。
- まちを訪れる国内外の人々と市民がアジア文化に親しみ交流するまちづくりを進めます。
- まちの特徴・アニメを活かし、まちに集う若者の活気がみなぎるまちづくりを進めます。
- このまちで起業しようとする人々が活躍出来る魅力的なベンチャータウンをめざします。
- このまちに住み、働く人々が互いに手を携えて、ふれあいのあるまちづくりに勤めます。
- まちの暮らしやすさを護るため、子供やお年寄り、ハンディのある人を暖かく見守ります。
- 子育て中の女性、働く女性が安心して過ごせるまちをめざします。
- まちの魅力を高めるため、緑豊かで町並み景観が美しいまちづくりを進めます。
- まちへの来訪者をお迎えし、いつも賑わいが溢れるまちの環境づくりに勤めます。
- まちの安心・安全・快適な環境を育むため反社会的な勢力の関与を防止します。
- このまちの将来像としてまちづくりビジョンを策定し、その実現のために努力します。

2 まちづくりの協定

楽しく美しいまちづくりのルール

まちづくりを進める物差しとして、地域が護る約束事であるルールを地域の皆様との協議をもとに定め、それをまちづくりの協定（建築・景観・緑化など）や地区計画など、行政制度とも関連づけたまちづくりのルールとします。

① 街路の使い方

路上のゴミ置き場、自転車駐輪、広告物、店先空間利用やオープン・カフェの設置について、安全で快適な街路空間とするようルールを定めます。

② 建物用途・外観・夜景

まちの賑わいと繁栄を維持するため、このまちに望ましい建物の利用、安心・安全な暮らしの阻害要因の排除、屋外景観、潤いのある夜景などの約束事を定めます。

③ 広告物・サイン

来訪者に分かりやすいよう外国語表記を始めまちの情報案内につとめ、美しい快適な町並みを形成するため、屋外広告物の対象、掲示場所、掲示方法、掲示内容についてまちのデザイン・ガイドラインを定めます。

④ 緑化

緑豊かな美しいまちとするため、建物敷地および街路空間を対象に、緑と花の豊かなまちとするよう、そのあり方やガイドラインを定めます。

⑤ ストリートファニチュア

・ベンチ等

ひとに優しいまち、お年寄りや子ども、家族連れがともに暮らしやすいまちとするよう、休むことのできるベンチなどのあり方やデザイン・ガイドラインを定めます。

・街灯・標識・ポラード・バナー等

まちの景観を美しく整えるよう、このまちに相応しい街灯・標識・ポラード・バナー等のストリートファニチュアのデザイン・ガイドラインを定めます。

3 まちづくりの進め方

① 三位一体のまちづくり

○ 地域の主体と互恵

まちづくりは地域関係者が主人公となり、自らの手で、地域が助け合う必要があります。このため、町内、学区、近接商店街と連携し、一体になってまちづくりを進めます。

○ 公民の連携と協調

行政の都市整備と連携・協調し、制度を活用した実現性のあるまちづくりをめざします。このため、愛知県・県警本部・中村署、名古屋市・中村区・土木事務所・消防署など関係機関のご指導・支援のもとにまちづくりを進めます。

○ 市民・企業等の理解と協力

まちづくりは市民の賛同と企業の協力や支援があってこそ実現します。地域で足りない部分を市民や企業協力で補いながらまちづくりを進めます。

② (仮)まちづくり管理委員会

まちづくりは継続的な管理と運営が行われないと持続しません。このため協議会で定めるまちづくり協定にもとづき、協議会に設置する「(仮)まちづくり管理委員会」で、まちづくりのルールに基づく計画行為の承認や点検などを通して、まちづくりの管理を推進します。

③ まちづくりの事業主体

地域経営を視点に、公民連携で多様な主体・手法を活用を検討します。

- まちづくり会社など地域が主体となるまちづくり法人設立等の検討
- 地元企業・商業者・地権者が主体となる事業組織づくり
- 行政（県・市・区・警察・消防・保健所）との連携の仕組み
- 協力事業者・デベロッパー等の参加の検討

④ まちづくりプログラム

リニア駅設置～リニア開通後のまちづくりスケジュール

工程	2015～	2020～	2025～	2030
リニア整備	用地買収	リニア新駅工事		リニア開業
まちづくり	計画準備・調整	まちづくり事業推進		まちの管理・運営

備考 用地買収の時期は、J R東海の目標時期を参考にしています。

編集後記

平成24年5月「夢を形に」との思いで当協議会が発足して3年が経ちました。会員さんがこの椿地区に抱いているのはどんなものか。みんなの頭の中にある街に対するイメージを文字や絵にしたいと考え、このイメージビジョンを作成し「椿まちづくりビジョン」と名付けました。

このビジョンが当地区生まれ変わりの起点として各方面の皆様のご意見を頂きはっきりとした「夢」になり、いつの日か「形」になるよう期待します。

本誌作成に関わっていただいた多くの関係者のご協力に感謝します。

名古屋駅太閤通口まちづくり協議会
事務局長 河村 満

名古屋駅太閤通口まちづくり協議会 会員名一覧（平成27年4月現在）

法人会員（会社・団体・店舗名）		個人会員	
株式会社 愛知銀行中村支店	星野商事 有限会社	石原 寛二	筒井 茂晴
愛知県信用保証協会	北海道芸術高等学校	伊藤 隆	河田 裕輔
愛知信用金庫中村支店	丸悦産業 有限会社	遠藤 孝次郎	森 善徳
株式会社 安達商店	株式会社 三重銀行名古屋駅前法人営業部	太田 冷子	犬飼 成秋
株式会社 アニメイト 名古屋	株式会社 名鉄グランドホテル	大竹 敬一	杉浦 宏治
食べ処 呑み処 いたう	株式会社 名峰	梶浦 勝彦	
株式会社 稲穂	株式会社 メロンブックス名古屋	加藤 茂	
大竹商事 有限会社	モトヤマジェム(株) 名古屋サミットホテル	勝目 誠	
株式会社 大竹製作所	株式会社 安兵衛	河村 真智子	
株式会社 カナイワ商事	代々木アニメーション学院 名古屋校	木全 孝之	
株式会社 松浦商店	株式会社 ル・ウエスト	熊沢 時代	
宗教法人 願王寺	ダイワロイネットホテル名古屋新幹線口	桜木 滋剛	
株式会社 健康生活グループ友愛	司法書士 則武事務所	杉山 雄彦	
株式会社 三栄	株式会社 名古屋国鉄会館	斉藤 高央	
三幸電子 株式会社	買取王ロイヤル名古屋店	柴田 三平	
株式会社 印鑑の水晶堂	弥風有限会社 セントレイクレノン椿	築城 善美	
太閤通一丁目町内会	株式会社 平成エンタープライズ	富成 幸彦	
有限会社 太閤オフィスサービス	株式会社 テクノウォーカー	中林 陽子	
株式会社 太閤ビルディング	モチーバ 株式会社	西川 富夫	
KTC 中央高等学院名古屋キャンパス	株式会社 電通名鉄コミュニケーションズ	西原 淑裕	
椿町東部町内会	東横INN名古屋新幹線口	松山 登	
椿町西部町内会	株式会社 エスカ	三浦 義範	
株式会社 坪井	株式会社 OVA21	三輪 文明	
株式会社 鶴八	もんじゃ 鉄板焼 カチャカチャ。	山田 芳信	
名古屋デジタル工科専門学校	株式会社 アースフィールド	山本 吉男	
株式会社 ナリタ	株式会社 m d m 名古屋美少女ファクトリー	渡辺 正治	
株式会社 バイオレックス	日本生命保険相互会社名古屋支社	魚住 広三	
七福商店 株式会社	株式会社 マリーエンターダイニング	金岩 篤史	
株式会社 コハクシステム	アルパック (株)地域計画建築研究所	菅森 弘昌	
有限会社 星野観光		不破 マリ子	

お断り 紙面の都合で団体正式名称を省略記載している場合があります。

名古屋市平成26年度地域まちづくり活動助成

名古屋駅太閤通口まちづくり協議会の活動は、
名古屋市の平成26年度地域まちづくり活動助成を受けています。

写真提供

本誌掲載写真は以下の方々のご提供により名古屋駅太閤通口まちづくり協議会で保有・編集
名古屋市、牧野小学校80年史、名鉄グランドホテル、(株)mdm名古屋美少女ファクトリー、
椿町有志、アルパック、名古屋駅太閤通口まちづくり協議会

イラスト作成協力

代々木アニメーション学院 平成26年度在籍の学生の皆さん（五十音順）
岡本 詩櫻里 櫛田 佳絵 田口 陽介 玉井 更奈 林 綾乃

本誌の配布

当協議会会員および関係機関以外の方で、ご希望される方には有償で配布します。
1冊 500円

名古屋駅太閤通口 椿まちづくりビジョン

発行 平成27年 5月 初版

発行者 名古屋駅太閤通口まちづくり協議会

会長 西川 富夫

事務局 事務局長 河村 満

〒453-0015 名古屋市中村区椿町21番9号 太閤ビル

電話 (052) 452-1351 FAX (052) 452-1355

作成・協議 名古屋駅太閤通口まちづくり協議会 幹事会・例会

オブザーバー 愛知県警察本部・中村署、名古屋市住宅都市局・中村区

イラスト作成指導 代々木アニメーション学院名古屋校

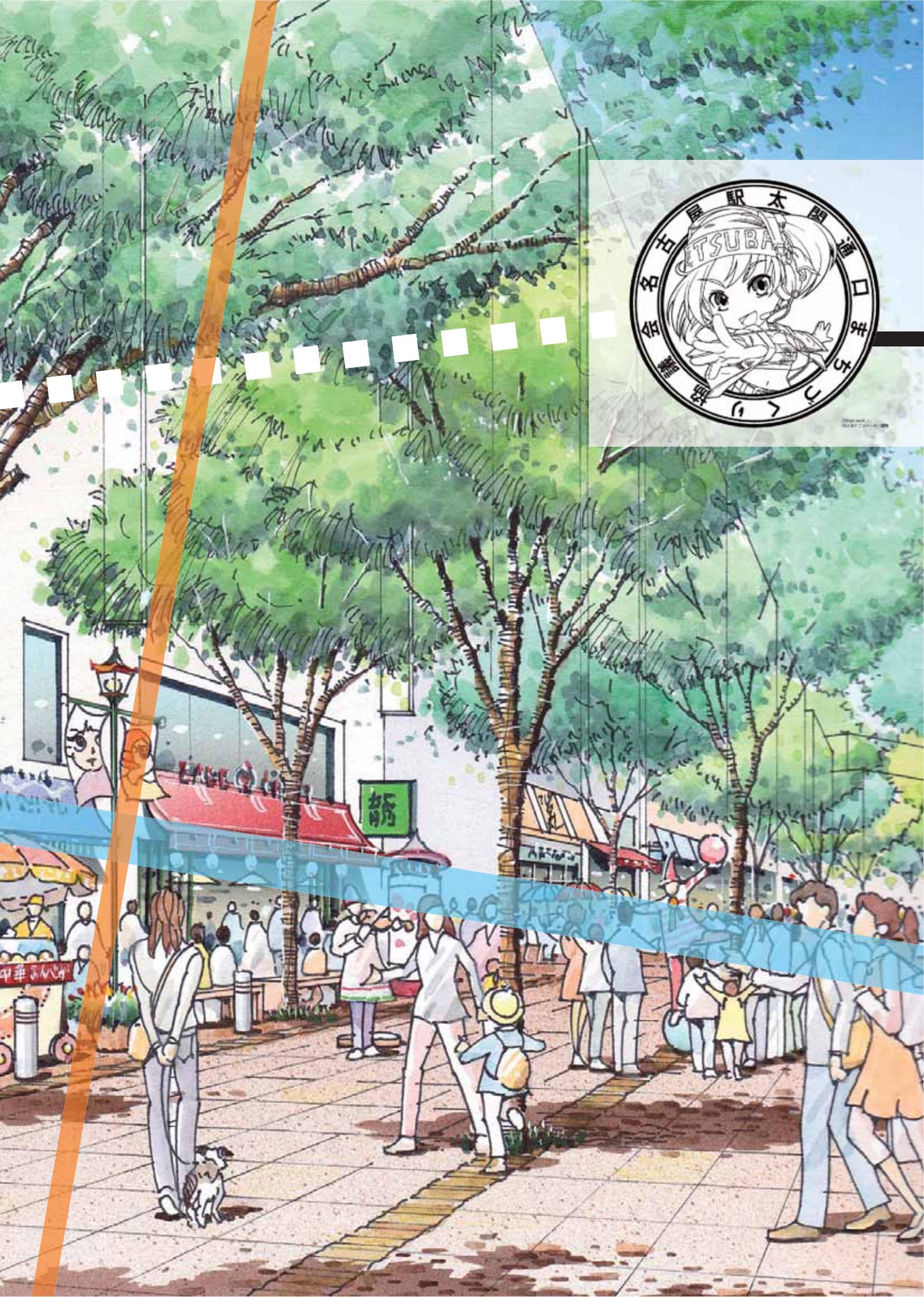
校長 野村 拓（平成27年3月 移動）

制作・編集支援 アルパック (株)地域計画建築研究所 名古屋事務所

尾関 利勝 木下 博貴

デザイン協力 矢田 なおみ

本誌に掲載する図・写真・コピー等一切の著作権は名古屋駅太閤通口まちづくり協議会が保有します。
無断転載、コピーを厳禁します。ご希望の方は当協議会事務局までお申し出下さい。



中華ふんや

新

名古屋

名古屋